

当院で乳がんの重粒子線治療を受けた患者さんへ

量子科学技術研究開発機構では、乳がんの重粒子線（炭素イオン線）治療を行った患者さんの画像データを用い、重粒子線治療後の乳がんの画像の変化、乳がんが消失するまでの期間に関係する画像因子を調べる研究を行います。データはすべて匿名化され、いわゆる個人情報や個人を特定できるデータが使われることはありません。また、この研究が行われることで、今後の経過観察、将来の治療方針が変更されることはありません。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 早期乳がん炭素イオン線治療後のMRI画像変化と治療効果に関する研究

[実施期間] 許可日 ～ 2025年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所およびQST病院

[研究責任者] 尾松 徳彦

[研究の目的] 炭素イオン線治療後の乳がんと正常組織の経時的変化を検索し、炭素イオン線治療後の乳がん消失期間に関するMRI画像因子、治療効果予測モデルを探索することです。

[研究の方法・データの使用方法]

●対象となる方々

2013年4月から2023年2月までに当院で乳がんの重粒子線治療を受けた方

●利用する情報及び利用方法

医用画像サーバーに保存されている画像情報とカルテ情報を収集します。追加の質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報は、解析する時にお名前などの個人を直接同定できる個人情報を削除し、匿名化します。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、匿名化された情報を使用します。（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、対象となるMRI検査のうち2021年11月30日までに行われたものについては2022年2月28日まで、2021年12月1日以降に行われるものについては検査後3ヶ月以内に下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。この期間を過ぎると個人識別できない情報は取り除けなくなりますが、その場合も患者さんを特定できる個人情報が表に出ることはありません。また、ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院

尾松 徳彦 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

